

# 感染予防医学講座

## Clinical Infectious Diseases

教授 舟田 久 Hisashi Funada  
助教授(前)安岡 彰 Akira Yasuoka  
助手 鳴河 宗聡 Munetoshi Narukawa

### 研究概要

多剤耐性菌の病院内伝播に関する分子生物学的解析

### 著書

- 1) 舟田 久(編集):「敗血症の解明と治療戦略」. 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 2) 舟田 久:敗血症の概念と定義.「敗血症の解明と治療戦略」舟田 久編, 17-29, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 3) 舟田 久:敗血症の疫学.「敗血症の解明と治療戦略」舟田 久編, 30-35, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 4) 舟田 久:敗血症の臨床病像.「敗血症の解明と治療戦略」舟田 久編, 36-44, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 5) 舟田 久:敗血症患者の治療と管理の基本.「敗血症の解明と治療戦略」舟田 久編, 176-184, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 6) 舟田 久:高齢者の敗血症.「敗血症の解明と治療戦略」舟田 久編, 290-296, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 7) 舟田 久:好中球減少例の敗血症. Febrile neutropenia への対応も含めて.「敗血症の解明と治療戦略」舟田 久編, 297-306, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 8) 舟田 久(編著):「日常外来で遭遇する感染症治療ガイド 的確な診療と予防の実際」. 永井書店, 大阪, 2006.
- 9) 舟田 久:敗血症, 感染性心内膜炎.「日常外来で遭遇する感染症治療ガイドの的確な診療と予防の実際」舟田 久編, 177-190, 永井書店, 大阪, 2006.
- 10) 舟田 久:シクロスポリン.「内科学」金澤一郎他編, 137-138, 医学書院, 東京, 2006.
- 11) 舟田 久:免疫不全と感染症.「内科学」金澤一郎他編, 341-347, 医学書院, 東京, 2006.
- 12) 安岡 彰:Q25 医療器具の消毒法について教えてください.「改訂版 HIV Q&A」, 81-82, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 13) 安岡 彰:Q44 現在の日和見感染症はどうなっていますか!「改訂版 HIV Q&A」, 134-136, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 14) 安岡 彰:Q5 HIV 感染で問題となる真菌症は.「深在性真菌症 Q&A」, 22-24, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.
- 15) 安岡 彰:Q36 口腔・食道カンジダ症の治療法は.「深在性真菌症 Q&A」, 112-114, 医薬ジャーナル社, 大阪, 2006.

### 総説

- 1) 舟田 久:真菌症の予防.血液・腫瘍科, 53: 256-262, 2006.
- 2) 舟田 久:プロカルシトニン.検査と技術 34: 1223-1225, 2006.
- 3) 舟田 久:敗血症の診断の現況と新しいマーカーの活用.検査と技術 34: 1226-1228, 2006.
- 4) 安岡 彰:HIV における真菌症. Jpn J Med Mycol 47: 161-166, 2006.
- 5) 安岡 彰:呼吸器感染症の脅威.ニューモシスチス肺炎はなぜ起こる.最新医学 61: 273-278, 2006
- 6) 安岡 彰:新興再興感染症の感染制御の実際.エボラ出血熱.治療学 40: 169-172, 2006.
- 7) 安岡 彰:ニューモシスチス症の診断と治療.血液・腫瘍科 53: 308-313, 2006.
- 8) 安岡 彰:HAART 施行時の副作用の頻度とその発現時期.薬局 57: 23-28, 2006.
- 9) 安岡 彰:医療機器の消毒法.治療 88: 2985-2987, 2006.

### 学会報告

- 1) 鳴河宗聡, 市之瀬麻衣子, 広沢 求, 井上千代美, 安岡 彰:入院時ルーチンでの感染症検査廃止への取り組み. 第 21 回日本環境感染学会総会, 2006, 2, 東京.
- 2) 境 美代子, 北川洋子, 吉井美穂, 安岡 彰, 落合 宏:富山県における病院感染地域支援活動「富山県感染対策

研究会」発足から9年を振り返って．第21回日本環境感染学会総会，2006，2，東京．

- 3) 安岡 彰：「HIV 感染症：一般外来で遭遇する感染症のひとつとして」．1. 日本の HIV 感染症の疫学と日和見感染症の動向．第80回日本感染症学会総会，2006，4，東京．
- 4) 河岸由紀男，三輪敏郎，林 龍二，荒井信貴，鳴河宗聡，藤下 隆，松井祥子，丸山宗治，小林 正：当科における市中肺炎入院症例の臨床的検討．第46回日本呼吸器学会総会，2006，6，東京．
- 5) 三輪敏郎，鈴木健介，山田 徹，鳴河宗聡，河岸由紀男，荒井信貴，林 龍二，松井祥子，丸山宗治，小林 正，土岐善紀，津田基晴，三崎拓郎，福岡順也，薄田勝男，野村邦紀：化学療法が奏効した後縦隔発生の骨外性骨肉腫の1例．第54回日本肺癌学会北陸支部会，2006，11，富山．
- 6) 松井祥子，河岸由紀男，鳴河宗聡，三輪敏郎，林 龍二，荒井信貴，丸山宗治，小林 正：肺病変を合併した Mikulicz 症候群の臨床的検討．第58回呼吸器学会北陸地方会，2006，11，福井．
- 7) 河岸由紀男，三輪敏郎，鳴河宗聡，林 龍二，荒井信貴，松井祥子，丸山宗治，小林 正：ゲフィチニブによる効果が得られた KL-6 高値の肺癌の1例．第53回 日本肺癌学会北陸支部会，2006，11，金沢．
- 8) 鳴河宗聡，安岡 彰，片野清隆，佐多徹太郎，舟田 久：診断・治療に難渋したエイズ関連悪性リンパ腫の2例．第20回日本エイズ学会学術集会・総会，2006，12，東京．
- 9) 安岡 彰，鳴河宗聡，源河いくみ，照屋勝治，菊池 嘉，岡 慎一，木村 哲：HIV 日和見合併症の動向 全国拠点病院アンケート調査．第20回日本エイズ学会学術集会・総会，2006，12，東京．

## その他

- 1) 舟田 久：敗血症とその管理．第13回長野県小児集中治療セミナー，2006，5，安曇野．
- 2) 安岡 彰：HIV 感染者への対応 今・昔．第16回福井 Compromised Host 研究会，2006，2，福井．
- 3) 安岡 彰：明日から役立つ病院感染対策豆知識．第32回長崎臨床感染症研究会，2006，2，長崎．
- 4) 安岡 彰，松本哲朗：耐性菌が検出されたら．耐性菌を作らない・広げない．第6回富山感染症リスクマネジメント研究会，2006，2，富山．
- 5) 安岡 彰：新型インフルエンザの視点から．院内感染対策を考える．氷見市民病院内感染対策講習会，2006，3，氷見．
- 6) 安岡 彰：HAART 時代の日和見感染症．萬有製薬社内勉強会，2006，4，東京．
- 7) 安岡 彰：日和見感染症．診断と治療のポイント．北陸 HIV/AIDS セミナー，2006，6，金沢．
- 8) 安岡 彰：病院における感染対策の現状．三輪病院研修会，2006，6，富山．
- 9) 安岡 彰：最近の HIV 薬治療．第41回新川医療圏薬剤師会研修会，2006，8，黒部．
- 10) 安岡 彰：感染症予防の基礎知識．富山県看護協会講習会，2006，9，富山．
- 11) 安岡 彰：今年のインフルエンザウイルスへの対応．新型インフルエンザへの対応を含めて．2006 Influenza Virus 研究会，2006，9，富山．
- 12) 安岡 彰：飛沫で空気中院内感染．発見時手遅れとならないための呼吸器感染症対策．ファイザー，2006，9，富山．
- 13) 安岡 彰：インフルエンザ対策は万全ですか．五島医師会・五島薬剤師会第7回市民公開講座，2006，10，五島．
- 14) 安岡 彰：サイトビジットと相互チェックの機能分化．国立大学病院内感染対策協議会，2006，10，松本．
- 15) 安岡 彰，鳴河宗聡，源河いくみ，菊池 嘉，岡 慎一，木村 哲： HIV 日和見合併症の動向．全国拠点病院アンケート調査．厚生労働科学研究エイズ対策研究事業 HAART 時代の日和見合併症に関する研究 平成17年度報告書 「HAART 時代の日和見合併症に関する研究」，12-19，2006．